

豊中市立第十五中
学校だより

一期一会

ICHIGO ICHIE

♪ 歌い継がれて41年間 大切なうたをこれからも♪



→ 12/13 おはなしの会での「1コマ
絵本からの3択クイズ...盛り上がりました

【追悼 谷川さん 湯浅さん】

開校後4年間は、十五中には校歌がなく、1982年(昭和57年)に、校歌制定委員会ができました。会議を重ねる中で、当時から有名であった詩人谷川俊太郎さんが作詞の候補になり、依頼したところご快諾をいただきました。作曲は谷川さんのご紹介でご友人の湯浅譲二さんをお願いすることになりました。制定には初代湯浅校長先生の音楽の船曳先生など、多くの方々のご尽力があったと当時の記録に記されております。翌1983年(昭和58年)に校歌が完成し、11月15日、「創立5周年記念 校歌発表式典」が豊中市市民会館で行われました。全校生徒、PTA・同窓会員、来賓など多くの参加があり、校歌の斉唱、ブラバンド部の記念演奏により、校歌完成を祝いました。

♪ **生き生きと日々を刻んで
新しい自分を創る♪**

いつも私たちにエールを送ってくれるこの校歌をこれからも大事に歌っていきます。谷川さん、湯浅さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

●豊中市立第十五中学校校歌
・作詞：谷川 俊太郎さん
(11/13没 92歳)。
・作曲：湯浅譲二さん
(7/21没 94歳)。

【11/18 性教育講演】
1年「命の誕生」
2年「付き合おうとは？
人を好きになるとは？」



3年「性感染症」をテーマに、助産師の田中まゆ先生を講師に学年ごとの講演、教室での振り返りを行いました。

【気づきより】

- 性は体や心に関わり、命に関わり、全員に関係すること。
- 誰にとっても必要なもの。
- 妊娠や出産、その大変さ。
- 誰もが大事な自分自身。いやなことをされたくない、お互いに尊重される関係づくり。
- 考え方は無数、同意は大事。
- 自分の体は自分だけのもの。自分のことは自分で決める。
- 性感染症は正しく怖がり、予防が第一。知識も大事。

【12/13 1年おはなし会】

日本や海外の昔話などを語っていたいただきました。語り手の生の声から聴き手はそれぞれ想像をふくらませ、教室は一つの舞台と客席のような空間となりました。

ほのぼのとした語り、緊迫した語り引き込まれ、終末がどうなるのかハラハラしたりしながら物語の世界に入っていました。

都島おはなしサークル、「シフカ・ブルカ」のみなさま、すてきなお話のプレゼントをありがとうございました。



【保護者のみなさまへ】

多くの方々のご助力により、欄外学校教育目標にある十五中生の「輝き」や「活力」にたくさん出会えたこの8か月でした。今後もそのような場面を大事にしたいと考えています。子どもたちの「今」はもちろん、10年、20年先に活躍する若者の礎となる毎日を大切に、来年も教職員一同、取組んでまいります。

保護者の皆様におかれましては、来年も変わらぬご支援、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。紙面ではありますが心よりお礼を申し上げます。

Special Thanks2



- ・9月：43期生12人(1年 卒業生の話を聞く会)
- ・9月：高校(10校)の先生方(3年 出前授業)
- ・9月：坂口教頭先生、森口校長先生(3年 進路学習)
(豊島高) (千里青雲高)
- ・9月：日本生命のみなさま(2年 ライフデザイン学習)
- ・10月：富田尚裕先生(市立豊中病院：2年がん教育講演)
- ・10月：吉田祐さん(2年 私の行き方発見プログラム)
- ・10月：地域51事業所のみなさま(2年 職場体験)
- ・10月：NPO法人パラキャン所属 選手のみなさま
(1年 車いすバスケットボール講演・体験)
- ・11月：利根安彦先生(大阪薫英女学院高校：3年進路学習)
- ・11月：今度珠美さん(情報モラル講演)
- ・11月：LGBTQ講演会(2年)、車いす講演会(2年)
- ・12月：社会福祉協議会のみなさま(2年 福祉すごろく)
- ・10、12月：米本桂子さん(学校ビオトープ学習)

0011以降、お電話ごめいた方々です。十五中生の感謝を届けたら感謝を申し上げます。